

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



商工業の振興について

問 デジタル地域通貨を導入する自治体が増えている。このシステムは情報伝達機能も有し、災害時等に市民とのやり取りが可能。買い物の利便性を高め、新たな情報ネットワークを構築することは市民に有益な取り組みであると思うが、市長の見解を問う。

※デジタル地域通貨：特定の地域やコミュニティ内で利用ができる通貨のこと。

答 誰一人取り残さず市民の利便性向上を図るため、商業振興だけでなく市全体の活性化につながるよう、あらゆる分野でデジタル化に取り組んでいく必要があると考えている。デジタル通貨の導入だけでなく、市民側からの発信、市民との情報のやり取り、これはまさにチーム旭でのまちづくりにつながるものと考えている。

学校教育の充実について

問 不登校になってしまう児童・生徒数は増加傾向にある。不登校を解消できる支援策、不登校のままでも支援が行える体制づくりが重要であると考えているが、教育長の見解を問う。

答 文部科学省では不登校の支援は学校に登校するという結果のみを目標にせず自らの進路を考え、社会的に自立する方向を目指すように働きかけるとしている。本市でも適応指導教室をはじめ、ICTを活用した支援、民間団体等との連携を深めるとともに、県内外の取り組みを参考に児童・生徒にとって適切な支援となるよう努めていく。

子育て支援の充実について

問 旭市育英資金は返還の必要がない素晴らしいものであると思う。しかし、昨今の社会経済活動の停滞、ロシアのウクライナ侵攻等により、物価は年々上がっており、給付を始めた平成17年当時の給付金額では少なすぎると思うが、市長の見解を問う。

答 子どもの貧困対策は重要な施策であると考えている。育英資金制度はこれまでも予算の増額や募集人数の拡大など見直しを行ってきた。給付額の増額はコロナ禍であることや物価上昇していることを考慮して検討する。



常世田 正樹 議員

